

コガタズメバチ

中型種

平野部から低山帯。軒下や枝葉の茂った樹木などに小さいスイカ大の巣。表面のウロコ模様は太くてハッキリしている。

オオスズメバチほど攻撃的ではない。巣に接近すると警戒態勢をとるが、威嚇はしない。



キアシナガバチ

飛ぶときに垂らした脚はやや長い。巣は一般的なハチの巣型。スズメバチほど攻撃的ではないが、巣に刺激をあたえると反撃。営巣期間は短く、夏の終わり頃まで。昆虫や蛾の幼虫などを狩り、花の蜜も吸う。



ハチの巣が近くにあると

- 飛びかうハチの数が急に多くなった
- 一定の方向に飛ぶようになった

ハチの警告

- 相手の周りをしつこく飛ぶ。
- 相手に狙いをつけて、空中で停止する。
- あごをかみ合わせて「カチカチ」という音を立てる。

対応

- できるだけじっとして、ハチが飛びさるのを待つ
- やってはいけない行為
- 手でふりはらう
 - すばやい動きをする

ハチの巣の場所

切り株あ
とや土中



茂みの中



鳥の巣
箱



小屋の軒先
や天井裏



大きな木のう
ろ(樹洞)

